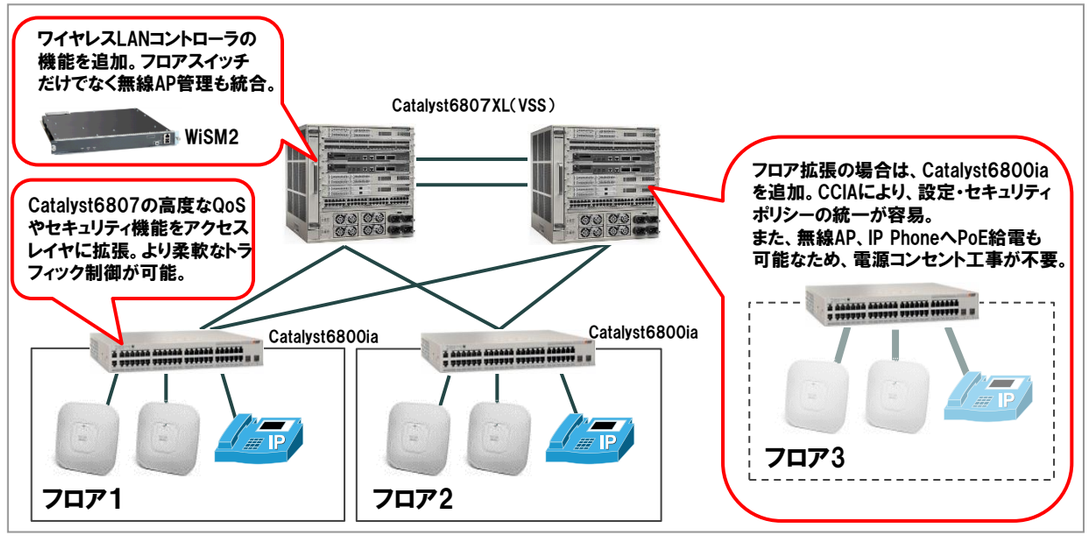
利用例

CCIAとワイヤレスLANコントローラサービスモジュール(WiSM2)を組み合わせて、オフィスネットワークの導入、運用管理の効率化に貢献。



仕様一覧

		C6807-XL	C6880-X-LE C6880-X	C6800IA-48TD C6800IA-48FPD
スイッチファブリック(Tbps)		最大11.4	最大2	-
フォワーディングレート(Mpps)	IPv4	最大360(分散処理) [*1] 最大60(中央処理)	最大300[*2]	-
	IPv6	最大180(分散処理) [*1] 最大30(中央処理)	最大150[*2]	-
	L2スイッチング	最大360(分散処理) [*1] 最大60(中央処理)	最大300[*2]	-
拡張モジュールスロット数		7 (slot3,4はSUP専用)	4	-
最大インターフェース数				
	40GBASE-X(CFP)	20	-	-
	10GBASE-X(X2スロット)	80	-	-
	10GBASE-T(RJ-45)	80	-	-
	10GBASE-X(SFP+スロット)	-	80	2
	1000BASE-X(SFPスロット)	240	80	-
	10/100/1000BASE-T(RJ-45)	240	-	48

*1 SUP2Tを使用しWS-X69** もしくは WS-X68** ×5 搭載時。
*2 C6880-X-LE-16P10G もしくは C6880-X-16P10G ×4 搭載時。

⚠ 安全に関するご注意 ★本製品の設置・接続・使用に際しましては、取扱説明書などに記載されております注意事項や禁止事項をあらかじめ熟読のうえ、必ずお守りください。

人と地球にやさしい情報社会へ

お問い合わせは、下記のNECへ
企業ネットワーク事業部
http://jpn.nec.com/datanet/cisco/

Specialization
- Advanced Data Center Architecture Specialization
- Advanced Borderless Network Architecture Specialization
- Advanced Collaboration Architecture Specialization

●本製品の製造元はシスコシステムズ合同会社です。
●Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems,Inc.の商標または登録商標です。
●その他の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
●本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。
●本カタログに掲載されている内容は、改良のため予告なくデザイン・仕様を変更することがあります。

日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル)
2014年4月現在 Ver.1 20140425BCC496

Empowered by Innovation NEC

マルチレイヤスイッチ

Catalyst6800シリーズ

http://jpn.nec.com/datanet/cisco/

バックボーン（コア/ディストリビューション）スイッチに要求される高い性能と信頼性を備えた次世代のマルチレイヤスイッチ

Catalyst6800シリーズは、Catalyst6500シリーズの豊富な機能を踏襲しつつ、将来のトラフィック増加に対応する高密度10/40/100（※）ギガビットイーサネットに合わせて最適化されたキャンパスバックボーンスイッチです。

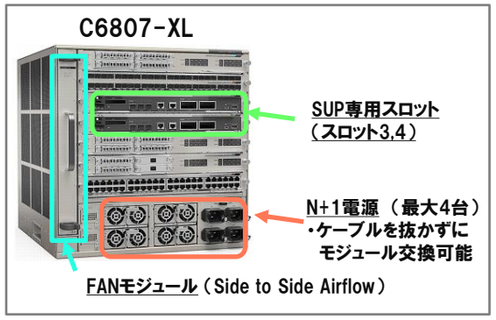
※ 100ギガビットイーサネットには将来対応予定です。

製品概要

Catalyst6800シリーズは、シャーシ型の『Catalyst6807XL』、BOX型の『Catalyst6880X』、リモートラインカードに相当する『Catalyst6800ia』で構成されます。

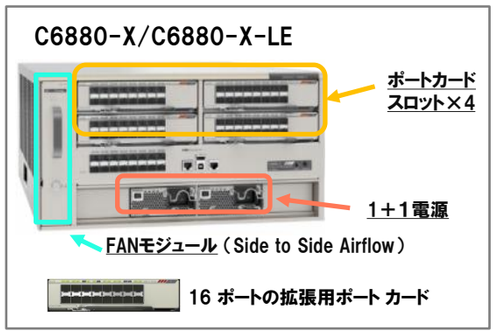
Catalyst6807XL

- シャーシ全体で最大11.4Tbpsのスイッチファブリックを提供。将来、スロットあたり最大880Gbpsのパフォーマンスを実現可能。
- Catalyst6500同様のスーパーバイザエンジン『SUP2T』を使用。インタフェースモジュールやサービスモジュールも利用可能。
- スーパーバイザエンジン、電源の冗長が可能。



Catalyst6880X

- SUP2T相当の固定型スーパバイザを搭載し、BOX全体で最大2Tbpsのスイッチファブリックを提供。将来、スロットあたり最大220Gbpsのパフォーマンスを実現可能。
- 『ポートカード』によるインターフェースの増設、また電源の冗長が可能。
- FIB/ACL/NetFlowテーブルが標準タイプのCatalyst6880-X-LE、テーブル拡張タイプのCatalyst6880-Xの2モデルから選択可能。



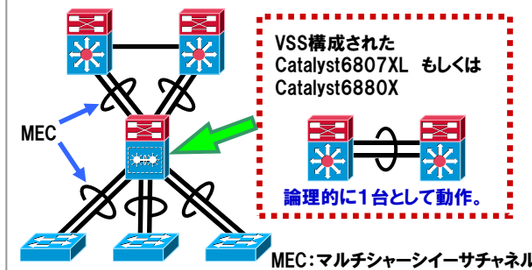
Catalyst6800ia

- Catalyst6807XL/6880Xのリモートラインカードに相当。親スイッチへの接続により動作し、最大21台の接続が可能。
- FlexStack機能により最大3台のスタック接続が可能。（スタック帯域幅は80Gbps）
- PoE/PoE+サポート。最大740W給電可能。（C6800IA-48FPD）

特長

VSS（Virtual Switching System）機能により、ネットワークの冗長性や管理性の向上に貢献

VSS機能は、2台のCatalyst6807XL/6880Xで仮想的なクラスタを構成することにより、2台分のパフォーマンス、高密度アップリンク、高い信頼性と運用効率を持つ1台のスイッチとして動作します。



無停止ネットワークの実現
VSSではシャーシ間のステートフル フェールオーバーをサポートしているので、障害時も高速なリカバリが可能。

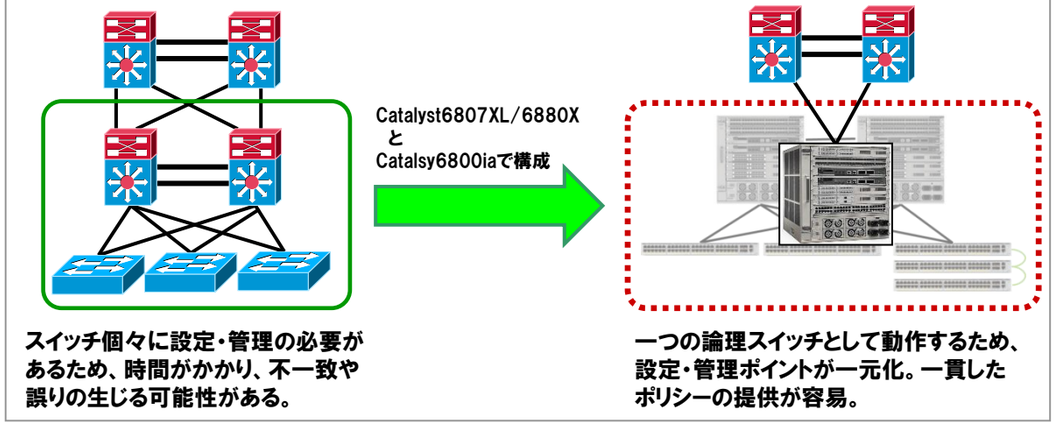
冗長プロトコルのシンプル化
スパニングツリープロトコルや、HSRP/VRRPなどを不要にし、ループフリーのネットワークをシンプルに構成。

アップリンクの効率利用と冗長性を両立
マルチシャーシイーサチャネルにより2台の帯域を有効に活用。障害時にはイーサチャネルの収束時間で復旧。

運用効率の向上
2台のスイッチを1台のように管理できるため、管理対象を削減すると同時に、設定の管理もシンプルに。

CCIA（Cisco Catalyst Instant Access）により、運用作業の効率化を実現

CCIAは、VSS構成されたペアレントスイッチ［Catalyst6807XL/6880X］とクライアントスイッチ［Catalsy6800ia］で構成されます。アクセスレイヤの物理スイッチも含めて一つの論理スイッチとすることにより、ネットワークの拡張と運用作業を容易にします。



サービスモジュールにより機能を統合し、運用管理工数を削減。

多様なサービスモジュールの搭載・組み合わせにより、セキュリティ、ネットワーク管理などの機能をスイッチ1台で提供します。別ハードウェアが不要となり、運用管理工数が削減されます。